

保護者様

令和元年7月22日

たかつき保育園

＊感染症情報＊

保育園で、**ヘルパンギーナと診断**されたお子さんがいます。これからの夏に流行する感染症です。いわき市では**手足口病が更に増加して警報レベル継続**となっています。また、**伝染性紅斑（リンゴ病）も増加して警報レベルです**。お子さんの体調の変化に気を付けてみましょう。気温の変化が激しい季節です。疲れをためず、規則正しい生活に心がけましょう。

ヘルパンギーナとは・・・乳幼児の間で流行しやすい夏かぜの一種で、38～40度の高熱が2～3日続きます。のどの奥に小さな水ぶくれができます。これがすごく痛いので、飲んだり、食べたりができなくなることもあります。水分が十分にとれないと、脱水症になることもあります。

《感染経路》飛沫、接触感染、経口感染

《潜伏期間》3～6日

《症状》**突然の発熱、咽頭痛**がみられる。咽頭に赤い発疹がみられ痛みを伴うことが多く、食欲不振や不機嫌、よだれが多くでます。

《治療》有効な治療薬はなく、対症療法になります。口の中が痛がることが多いので、食欲不振による、脱水症に注意してください。できるだけ刺激の少なく、のど越しがいいものを与えるようにしましょう。

《登園》**全身状態が安定している場合は登園可能です**。（熱が下がり、喉の痛みがとれ、普通に食事がとれる。機嫌がいい。）登園時は、**登園許可証（保護者記入）**が必要です。